

会員の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、会長の大役を仰せつかることとなりましたが、学生生活を送るうちに、理事長会全体で取り組んで参ります。新理事共々どうぞよろしくお願いいたします。

さて、学生の皆さんは将来の医療従事者を目指して日々努力されていることと存じます。そこにプラスして、ぜひ自身の行動を俯瞰することができるようにもなって欲しいと思います。将来職業に就き仕事ができるようになること、だんだんと多くの仕事を任されるようになっています。俯瞰できるようにする必要があります。医療を受ける方、自身が所属するグループ、地域など、多くの視点で自分の仕事を見ることで、また現在の自分を



千葉県立保健医療大学  
後援会  
会長 峯島 光年

理解できるようにあります。そうすると、数年後、あるいはもっと先の自分の目指していた姿が見え、そこへ向かって、もしかすると周囲の仲間と共に前進していくことでしょう。

後援会は学生の皆さんを4つの活動で支援していますのでご紹介いたします。まず1つめ、決して潤沢とは言えませんが、サークル活動や大学祭（いずみ祭）などの学生会活動の予算を全て支援しています。2つめに就職進学ガイダンス、国家試験模擬試験費用といった将来に向けた資格取得の支援、3つめに災害に備えた防災備蓄品、仁戸名キャンパスへの通学路街灯の電気料金全額負担といった施設支援、毎年学生の皆さんには好評な「いずみ祭への出展」です。4つめに卒業時の学位記ファイル・記念品の贈呈、祝花提供があります。また、会員様向けの活動として広報誌「いずみ」の発行と後援会HPの運営をしております。

後援会は学生のために様々な活動をしてまいります。会員の皆様におかれましては、なお一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

いずみ

いずみ  
第28号 夏号

令和6年7月20日発行

千葉県立保健医療大学  
後援会

〒261-0014  
千葉市美浜区若葉2-10-1

題字揮毫  
山浦 晶 初代学長

12期生のみなさま ご卒業おめでとうございます



令和5年度 卒業式の様子



後援会ホームページ  
を大幅にリニューアル  
しました！



学生会のサークル紹介や広報誌いずみのバックナンバーも掲載されています

<https://hoidai-kouenkai.com/>

ご意見・ご感想はこちらまで  
✉mail@hoidai-kouenkai.com



令和5年度  
卒業式・学位記授与式



令和6年度 入学式の様子



令和6年度  
入学式



熊谷知事も  
お祝いにきて  
くださいました

今年は後援会入会受付  
ブースはたくさんの方  
がきてくださいました



16期生のみなさま ご入学おめでとうございます



## 新年度学生諸子に望むこと

学長 龍野 一郎



令和6年度新入学生176名並びにそのご家族の皆様へ、心より御入学を御喜び申し上げます。また、在校生並びに御家族の皆様に対して、日頃からの千葉県立保健医療大学への御理解並びに御支援に心から感謝を申し上げます。

2020年の初頭から続いていた新型コロナウイルス感染症COVID-19の大流行も昨年5月に5類に移行し、本学の活動も本来の姿を取り戻しています。ただ、我々を取り巻く社会情勢は厳しく、新型コロナウイルス感染症以外にも「ウクライナへの軍事侵攻」「パレスチナ紛争」といった国際緊張、更には「気候変動に伴う自然の脅威」「人口減少（少子高齢化）」「経済格差と貧困」、加えて「人工知能、ロボット革命といった技術革新社会の到来」といった乗り越えなければならぬ多くの課題が存在します。今後、グローバル化の急速な進展と科学技術の進歩によって、社会の価値観や産業構造は大きく変化していくと思われ、学生諸子には大学4年間の学びを通して、将来の健康長寿社会を創造する保健医療専門職となるだけでなく、広く大人の一人として世界の国々の歴史、文化、社会システム、生活習慣をも理解して深い知性と豊かな人間力を備えていただきたいと思っています。

本学は県立大学として5年目を迎える比較的新しい大学とは言え、施設は建学前の衛生短期大学、県立医療技術大学校時代のままで、老朽化が進んで心配をおかけしていましたが、4月の入学式で熊谷俊人知事がお話されましたように、「保健医療大学の機能強化の調査検討」が県で予算化され、いよいよキャンパス整備など新しいステージに向かって動き始めます。今後、ますますの皆様のご支援をお願い申し上げます。

## 将来の自分を

見据えた大学生活を



副学長 大川 由一

後援会の皆様におかれましては、日頃より大学の教育や学生生活に対して多大なご支援を賜り心より感謝申し上げます。また4月からはキッチンカーの大学構内への出店にご尽力いただき誠にありがとうございます。大学に学食がない中で昼食の選択肢が増え、学生・教職員ともに喜んで利用しているところです。

大学キャンパスは、コロナ禍以前のように入学生から新入生までの学生たちの心地よい騒がしさに満ちています。学生生活に目を向けますと、1年から2年次の時期は比較的自由な時間を確保しやすいので、多くの学生はアルバイト、サークル活動、ボランティア活動などに時間を割いているようです。一方、3年から4年次にかけては、臨地・臨床実習にかかわる時間も多くなることから、自由時間が多少制限されることとなります。新3、4年生に入学から現在までの時間経過について尋ねたところ、多数の学生は、あつという間であつたと答えていました。実際、大学生活4年間は意外と短く、その間に主体的に学修しながら専門知識や技術を修得し、地域のリーダーとして活躍できる医療人として社会に巣立っていくこととなります。

近年、ブラックバイト、特殊詐欺犯罪、薬物犯罪など様々なトラブルに学生が巻き込まれる事件が全国で発生しております。これまで大学としても警察署などと連携して学生を指導しておりますが、今後は学生自身のリスク管理がより重要となっていくと思います。学生には将来の自分を見据え、目標を立てながら大学生活を楽しんでいただく位かと思っております。教職員は個々の学生に寄り添いながら目標の実現に向けて支援してまいります。

## コロナを超えたキャンパス

ー新たな大学生活の始まり



健康科学部長 佐藤 紀子

春の息吹と共に、新年度が始まりました。桜の花びらが舞う中、175名の新入生が我々の大学コミュニティに加わりました。新入生を迎える入学式は、まさに彼らの新たなスタートを祝福する華やかなものでした。

新入生たちは既に大学生活に慣れ、キャンパスは彼らの元気な声でいっぱいです。後援会のご尽力により今年度から始まったキッチンカーの導入は、学生生活に新たな楽しさをもたらしました。キャンパスライフがより豊かになりました。

また、2年次に開講する社会実習という科目が、コロナ禍でずっと開講できなかったのですが、ようやく昨年度から開講されました。この科目は、学生たちが地域社会とのつながりを深め、専門職としての責任感を育む貴重な機会を提供しています。自由科目ではありますが、今後多くの学生が受講することを期待しています。

学生の皆さんには、これからも自己成長と自己実現を目指して、積極的に学び、挑戦し続けてほしいと願っています。大学は皆さんの可能性を最大限に引き出すためのサポートを惜しみません。地域社会との連携を深め、専門職としてのスキルを磨き、将来への道を切り開いてください。

後援会の皆様方には、学生たちの輝かしい未来のために、引き続きご支援をお願いいたします。

## 図書館だより「ぽーればーれ」のご紹介



図書館長 石井 邦子

千葉県立保健医療大学には、幕張図書館と仁戸名図書館があります。2万冊を超える蔵書と電子書籍・電子ジャーナルが利用でき、コロナの影響で充実したオンラインサービスにより、自宅から世界中の文献を手軽に入手することもできます。平日は8時から17時まで開館しており、静寂で落ち着いた自習室では遅くまで課題に取り組む学生さんたちの姿が見られます。

今日は、図書館だより「ぽーればーれ」を紹介いたします。毎年4月と6月に発行され、各学科専攻の教員が順番に執筆しています。エッセイやおススメの本の紹介など、記事の行間からは、普段の授業では気づかなくなっていた執筆者の人となりが垣間見えることもあり、発行を心待ちにしている隠れファンが実は結構いるのだと言われています。

「ぽーればーれ」のバックナンバーは、図書館HPのトップページから、小さな文字のタグ「図書館だより」をクリックしてご覧いただけます。お時間のある時にご覧いただけたら嬉しいです。また図書館は、大学関係者以外のどなたでも利用できます。医療関係の書物はもちろん、気軽に楽しめる書籍やDVDもあります。ぜひ足をお運びください。



## 大学祭(いずみ祭)に向けて

学生部長 細山田 康恵

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学生会による新入生歓迎会はいかがでしたか。医療従事者を目指す本学ならではのサークルを知る機会になったことかと思えます。大学では、授業だけでなく、サークルや地域活動を通じて、全学科専攻の友人と交流を深め、充実した学生生活を送っていたことを願っております。「大学祭(いずみ祭)」は、学生会が中心となり、すべて企画・立案して、1・2年生が中心で実施されるものです。お互い協力し合い、楽しい思い出になるように取り組んでみてください。SNSの有効活用、地域への広報活動などを中心に情報発信に力を入れ、来場者の方が増えるように検討しております。皆さんの活動を全力でサポートし、パワーアップした「いずみ祭」になるように努めてまいります。

後援会の皆様には、良い環境で学生さんが過ごせるように、いつもご検討いただきありがとうございます。4月からは週2回キッチンカーの導入を試行していただき、大変有難く感じております。今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



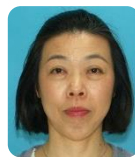
## 活気ある学園生活を

歯科衛生学科長 酒巻 裕之

後援会の皆様におかれましては、平素からご支援を賜り感謝申し上げます。

本年3月には、12期生の6名が卒業し、新卒生全員が歯科衛生士免許を得て活躍し始めました。4月には新たに5名の学生が入学しました。入学式、新入生ガイダンスでは、非常に緊張していたものの、直ぐに打ち解け合い、大きな笑い声が響くようになりました。時にはその声が大きく、「周りに迷惑をかけないように」と注意するほどです。このような注意をするのは、本当に久しぶりで、対面の学園生活が戻った感じがしています。

令和6年度は医療保険と介護保険の同時改訂の年です。歯科では、在宅歯科診療の報酬が大きく変わり、ますます歯科衛生士の役割が拡大することになりました。私たちもこれらに対応できる人材を輩出できるように指導に努めます。また学生は、座学から演習、実習、臨地実習とらせん型教育により、各テーマを何回も繰り返して修得していただきます。



## 看護を学び始めた 新入生に望むこと

看護学科長 河部 房子

今年度、看護学科は8名の新入生を迎えました。入学式も、その後開始された授業もほぼコロナ以前の状況で実施され、皆さんの大学生活が順調にスタートしたことをとても嬉しく思います。学科ガイダンスでは、自ら考えることと感じ取ること、この2つを会得できればどのような訓練も無用になるというナイテイングルの言葉を紹介し、これからの4年間、自らの知性と感性をしっかりと高め、これからの学びたいと話しました。入学から数ヶ月が経った現在、学修のコツはつかめましたか。知性を働かせるコツは、物事に対して疑問を持つことです。感性を高めるためには、多様な人々の生活や生き様に触れることです。どんなにAIが発達しても、人間の持つ想像力と創造力は代替の利かない重要な能力であり、これを鍛えるには、効率が悪いようでも多様な視点から自分の体験を広く深く吟味して思考する努力を地道に重ねることだと思います。

看護は看護する人の人間性を如実に映し出す仕事です。皆さんが互いに切磋琢磨し合いながら、自身の知性と感性を磨き成長していくことを願います。後援会の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。



## 作業療法へ歩み入る

リハビリテーション学科長  
作業療法学専攻長 岡村 太郎

後援会の皆様、いつも学生のためのご助力いただきありがとうございます。

学生の様子ということで、授業では、例えば「作業療法は対象の「望みや必要なこと」から障害の全体像に焦点を絞り問題点を対象者と共有して初めて、目標と計画が始まる。精神作業療法では障害を「事」とし、障害を俯瞰するように事と事を繋つた「作業」を通して、「意味」を考えることが大事になります。「星が事ね」と言っていて、「ぼんやり星空を眺めている」と星座が浮かびあがるように」というと、学生の何人かパタパタ倒れるように寝ていく様が見えます。興味を持ってもらおうとアニメの話から、ギリシャ神話の話になると「コマそれで終わりになります。かといって、学生がさぼっているわけではなく、レポートを出せばびつくりするくらい優秀な内容が返ってきます」。

1年生は入学して間もないのですが、頑張り屋がそろっています。2年生も少し余裕をもって好きなことが少しいけるようになっていきます。3年4年生は学生生活で、いろいろなことが起こり、それをいろいろな意味として繋いで、いろいろな味として解釈ができるよう一歩踏み出しているようにみえます。また、3年生は臨床実習へ、4年生は国家試験と就職へと課題が多くなるかと思いますが、後援会の皆様のお力添えを心より願います。



## 栄養学科での学び

栄養学科長 平岡 真実

栄養学科では、食と健康について専門的な学びを深めて、人々の健康づくりに貢献する人材育成に取り組んでいます。授業や実験、実習を通して、栄養素、食品、献立、調理についてだけでなく、人体の構造や機能を理解した上で、いつ、だれが、どのように、何を、どうすれば、どう伝えるか、といった知識や方法などを学修します。実験や実習の時間が多く、課題も増えて日々大変な一方で、試食を伴う実習もあり、楽しみな部分も増えており、学生同士協力しながら取り組んでいます。

栄養学は生活に非常に近い学問であり、食や栄養に関する情報が身近に溢れています。情報を鵜呑みにせず、科学的な視点をもった栄養の専門家をめざして、学生時代には勉学とともに多くの体験をして欲しいと願っています。保護者の皆様からも応援お願いいたします。

最後になりましたが、日ごろから後援会の皆様には多くの支援を頂き、心より感謝申し上げます。



## アドバイザーグループ

理学療法学専攻長 堀本 佳誉

後援会の皆様におかれましては、日ごろから多大なご支援をいただき、誠にありがとうございます。

今年度、理学療法学専攻には12名の学生が入学しました。1年生の担任からは、入学して間もない内に、専攻内だけでなく、他学科の同級生との交流も広がっており、充実した生活を過ごしているとの報告を受けております。理学療法学専攻では、本年度より「アドバイザーグループ」という活動を始めました。各学年を5グループに分け、1・4年生で1つのグループを作り、各学年での交流を深めてもらうことを意図したグループです。各グループには、教員が1名サポーター役として配置されています。

ここでの交流を通じて、医療従事者を志望する学生として、先輩から、学業面だけでなく普段の振る舞いなどの情意面でのあり方も学べる、お互いを高め合えるグループになることを期待し、そのために教員一同サポートしていきたいと思っています。



## 美味しいご飯がやって来た！

キャッシュレス決済  
対応のキッチンカー  
もあります♪

学生さんとのやり取りが楽しいです」とキッチンカーの女性



スイーツ希望の学生の声に応じて  
この日はクレープ屋さんも営業

理事 奥山

お弁当を手に入れる手段が少なくという、本校学生が直面するランチタイム問題。その問題解決に向けて、様々な策を講じて来た後援会が辿り着いたのは、キッチンカーの招致でした。小規模大学である上に、上級生は実習で留守がち。キャンパスも離れた二か所にあることから、当初キッチンカー招致は難航しました。ところが、後援会と学生支援課さんがタッグを組んだらすくすく一週間に月からの週一回、キャンパス内でのキッチンカーの営業が始まりました。毎回様々なジャンルのキッチンカーが来校し、ランチタイムに彩を添えてくれます。

## 泉水 勇一（看護1年）

この度、理事に就任した泉水勇一です。4月から娘がお世話になっております。

『保健大生が快適な大学生活を過ごせるよう後援会がサポートする』という目標に、少しでもお役に立てよう頑張ります。皆様、よろしくお願いいたします。

## 新理事紹介

## 金山 幸子（看護1年）

学生の皆さんが楽しく充実した学生生活を過ごせますように、お手伝いさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 鍋川 真澄（栄養1年）

今年度から後援会に参加させていただく鍋川です。微力ではございますが、皆さんの後方支援を担当させていただきます。大学生活が実りの多い時間になるように、サポートさせていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

## 羽田野 道代（理学1年）

学生の皆さんが充実した環境の中で楽しくステキなキャンパスライフを送れるよう、応援していきたいです。先輩方を見習い、私自身も後援会での活動を楽しみたいです。よろしくお願いいたします。

## 総会報告

理事 奥山

青空が広がった5月18日（土）。令和6年度後援会総会を幕張キャンパスで開催し、会員と教職員合わせて57人の出席がありました。オンラインでの参加が過半数を占め、総会も世相を反映しています。冒頭に、龍野学長より後援会活動への感謝のお言葉をいただきました。千葉県下の厳しい保健医療の現状、学生の闇バイトや薬物乱用といった話題にも言及されました。

議事に移り、まず第1号議案「令和5年度事業報告」と第2号議案「決算報告」についての説明が全面的な支援、TOEICや国試模擬試験受験料の助成等、勉学面への支援、災害備蓄品の購入配置等を行いました。広報誌「いずみ」の発行、HPの運営等広報活動にも力を入れ、卒業記念品の贈呈も行っています。賛成多数で承認されました。

続いて第3号議案「令和6年度事業計画（案）」と第4号議案「予算（案）」です。例年通り、張り切って各事業を実施いたします。経費節減の為、広報誌の外部発注をやめ、自主制作に取り組みます。また、新一年生の加入率に合わせ、積立金を増額します。いずれも、賛成多数で承認されました。

第5号議案「規約の改定」第6号議案「令和6年度役員（案）」も承認されました。

総会後の近況報告会では、大川副学長をはじめ、諸先生方よりお話を伺いました。全国でも抜き立てられている国家試験合格者には、保護者から拍手が送られました。歯科衛生学科長酒巻先生からは「元気な一年生の楽しいエピソードも語られ、近況報告会は和やかに終了しました。」と



総会風景

## 令和6年度 いずみ祭・公開講座のお知らせ

10月13日（日）、10月14日（月）にいずみ祭が開催されます。後援会も出展に向けて、全員当たるくじ引きや、チーバくんの招致等、楽しい企画を準備中です。ご家族の皆様方も、この機会に大学にいらしてみたいかたがでしょうか。

今年度の公開講座は、メインテーマを「健康な未来へ」と題し、10月13日（日）13時～15時45分に、幕張キャンパス大講義室での来場型と、ZOOM配信でのオンライン型の同時開催を予定しております。どうぞ奮ってご参加ください。